



## 未来に繋がる確かな道しるべとして——

国内のバレエ教室の数は4600、学習者の数は35万人を超えるという。これはバレエ大国のロシアやフランスなども到底及ばない数だ。バレエ学習への門戸が誰にでも開かれているこの環境が日本バレエ界独自の発展を築いたことは間違いないが、反面、教師の質や近年のコンクール至上主義の傾向へ警鐘を鳴らす者も多い。

熊川哲也はそんなバレエ教育に一石を投じている。発表会という枠を超えた本格的な舞台経験を提供すべくKバレエ ユースを組織したのは2013年。第1回公演の『白鳥の湖』、完全新作の全幕『トム・ソーヤの冒険』に続き、2017年には、プロにとっても難度が高い作品として知られる『眠れる森の美女』を上演。多くのソロ役が必要とされる本作で数々の才能に出会ったが、なかでも主演のオーロラ姫を演じ、その後カンパニーに入団した佐伯美帆は、デビューとなった2017年の『クレオパトラ』でも、堂々とした舞台姿と柔らかなポージングで群舞の中にも目を引いた。ユースの経験が、プロキャリアへの移行をスムーズにしているのだろう。

若き生徒たちにプロの経験を与える意義は計り知れない。バレエを職業にするということは、四六時中スタジオで自らと向き合うということで、日常生

活の節制も強いられる。そしてどてつもない重責を背負い舞台に出るが、努力が報われない時もある。それでも翌日の舞台に立ち向かうのだ。そのすべてをユースで体験した後では、習い事という枠を超えてバレエと自分の将来を具体的に見つめざるを得ない。絶対にプロになりたいと想いを強める者もいれば、逆にプロを諦めるという選択をする者もいるだろう。

創立から6年、Kバレエ ユースはプロへの架け橋としてだけでなく、輝く未来を担う若者への道しるべとして着実にその価値を高めている。

(文：早川智子)



第3回公演『眠れる森の美女』(2017年)より。写真右は佐伯美帆(オーロラ姫)と堀内将平(フロリント王子)。

## K-BALLET YOUTH 第4回公演「くるみ割り人形」 芸術監督：浅川紫織

2019年 8月3日(土) 4日(日) Bunkamura オーチャードホール

日程/開演	8/3(土) 16:30	8/4(日) 14:00
マリー姫	吉光美緒	塚田真夕
くるみ割り人形/王子	武井隼人	田中大智
ドロツセルマイヤー	遅沢佑介	遅沢佑介
クララ	池田彩乃	川村咲子
雪の王	本田祥平	金 瑛揮
雪の女王	後藤涼香	杉本 遥

※開場は開演の30分前  
S席 ¥8,000 / A席 ¥7,000 / B席 ¥6,000 / C席 ¥4,800 (税込)

好評発売中!

美しい時代へ——東急グループ

[公演に関する詳細] <http://k-balletyouth.com>

[お問い合わせ] チケットスペース 03-3234-9999

[チケット取り扱い]  
 チケットスペース 03-3234-9999 (オペレーター対応)    
 TBS オンラインチケット    
 Bunkamura チケットセンター 03-3477-9999 (10:00~17:30)  
 オンラインチケット MY Bunkamura    
 チケットぴあ 0570-02-9999 (Pコード: 491-207) <http://pia.jp/t/>  
 ローソンチケット 0570-000-407 (オペレーター) <https://l-tike.com/> (Lコード: 32631)  
 イープラス <http://eplus.jp/>

主催：K-BALLET / TBS / Bunkamura 特別協賛：花王株式会社

◎キャスト予定は2019年6月20日現在のものです。出演者の病気や怪我など、やむを得ない事情により変更となる場合があります。最新のキャスト情報およびイベント詳細は<http://k-balletyouth.com/>にてご確認ください。なお、公演中止の場合を除き、実施するすべての公演に関して、キャスト変更に伴うチケット代金の払い戻し、公演日や券種の変更は原則としてお受けできませんのであらかじめご了承ください。◎公演中止の場合の旅費チケット送料等の補償はいたしかねます。◎本公演は5歳以上の入場が可能です(4歳以下入場不可)。◎演出上開演後の入場は制限させていただく場合があります。

Photographs: Ayumu Gombi / Toru Hiraiwa



K-BALLET PRESENTS  
 Tetsuya Kumakawa  
**K-BALLET YOUTH**  
 [Kバレエ ユース 第4回公演]



# くるみ割り人形

総監督：熊川哲也

2019年 8月3日(土) 4日(日) <全2公演>  
 Bunkamura オーチャードホール





# 若きダンサーたちが羽ばたく感動のストーリーがここに！あなたもその目撃者となる！！

## Kバレエ ユース 第4回公演「くるみ割り人形」



Kバレエ ユース 総監督  
熊川哲也

Kバレエ ユースはバレエの道を志す若手ダンサーに生徒からプロへの架け橋となる場を与えたいという思いから2013年に創設しました。22歳以下を対象としたオーディションにより選ばれたメンバーは、リハーサルから本番までの過程、衣裳・美術に至るまでカンパニーと全く同じ環境を与えられます。当然求められるレベルは非常に高く、時に過酷といえる要求になることもあります。しかし、その環境に身を置くことで彼らが見せた成長は想像をはるかに超えるものであり、またその無垢な力が生み出す感動は、多くの観客の胸を打つものとなりました。私自身、次世代の才能が持つ無限のパワーを再認識するという恩恵を受けたといっても過言ではありません。

第1回記念公演『白鳥の湖』(2013年)、第2回公演『トム・ソーヤの冒険』(世界初演(2015年)に続き、2017年の第3回公演では『眠れる森の美女』を上演いたしました。周知のとおりプロにとっても難度の高い超大作であり、当初上演は困難かとも懸念されましたが、アカデミックな古典バレエの世界にひたむきに取り組み、本番で彼らが生み出した見事なまでの感動は忘れがたいものとなりました。

そして、これまで身に着けてきた技術と表現力、貴重な経験がもたらした精神の成長を糧とし、新たに挑戦するのが、チャイコフスキー三大バレエ最後の一つである『くるみ割り人形』です。他の2作と同様にバレエを志す者にとって必ず通るべき作品であることは間違いなく、実際、多くの学びを得ることのできる要素が本作にはあふれています。多彩なキャラクター、多数のディヴェルティスマン、高度なスキルを要する雪の場面の群舞など、バレエダンサーに必要な素養や技量を多岐にわたって育てられることに加え、本作の持つ夢に満ちたドラマティックな物語展開は「踊りを通してストーリーを語る」ことを習得するうえでも重要な学習となるでしょう。

この『くるみ割り人形』において、才能あふれる彼らの“今だからその輝き”が生む感動は、観客の皆様にとっても未来へと繋がる大きな活力となることと確信しています。



ここが見所！

### Kバレエ ユースが挑む 熊川版「くるみ割り人形」

物語の1人目のヒロインは 少女**クララ**。役に求められるピュアな魅力は もちろん、熊川版ならではの複雑なリフトが駆使されたバ・ド・ドゥなどを確実に踊りこなす技量も必要とされる。作品のクライマックスを飾るグラン・バ・ド・ドゥを踊るのは本作の主役である**マリー姫**と**王子**。バレエ音楽史上随一とも謳われる屈指の完成度を誇るこのシーンの音楽に与えられた振付は、終始一貫して基礎を重視したアカデミックなステップ。派手さがなく、ポジションや角度まで一切のごまかしが利かない。観客にとってもダンサーの真の技量とバレエの形式美を堪能することができる場面だ。そのほか多彩なキャラクターが登場するのも本作の魅力だが、なかでも超絶技巧が代名詞の**雪の女王**と**雪の王**に注目したい。舞台一

面が真っ白に染まる圧巻の雪景色のなか、風によって舞い踊る雪片のごとくスピーディーなステップと吹雪のような回転は世界中のどの版と比べても、最も難易度が高い振付だろう。また、Kバレエカンパニーのプリンシパル 遅沢佑介が賛助出演し、不思議な力で時空を操り、クララを冒険の旅へと導く**ドロッセルマイヤー**を初披露するのも見逃せないところ。その夢幻的な物語から子供向けと思われがちな「くるみ割り人形」だが、大人の鑑賞を前提に深みを持たせた熊川版では表現も技術も最高難度が必要とされる。無限大の可能性を持つ若手ダンサーの壮大な挑戦に目が離せない。

時は19世紀初め。人形の国ではわづみたちとの領地争いが起きている。ある日、わづみの王様は人形王国に魔法をかけ、マリー姫をわづみに、婚約者の近衛兵隊長をくるみ割り人形に変えてしまう。魔法を解く方法がただ一つ、世界一硬いクラフトウルクの心を割るしかないが、そのためには純粋無垢な心を持つ人間の力が必要だ。人形の王から命を受けたドロッセルマイヤーはこの人物を探すため、人間界へと旅に出る。そこで出会った少女クララに待ち受けるものは……。

### K-BALLET YOUTH 活動の流れ



メンバーオーディション

メンバーは厳正なオーディションにより選ばれる。審査には芸術監督の浅川紫織をはじめとする豪華教師陣がある。



リハーサル

約1年におよぶリハーサルは、Kバレエカンパニーが日頃公演に向けて行っているそれと同様のスタイルで行われる。技術や演技はもちろん、舞台上立つ心構えや厳しさもここで学んでいくことになる。キャストはリハーサル開始時に発表されるが、その後の成果により変更となることも。また、公演間際には劇場での公開リハーサルが行われ、初めて観客の前に踊ることを体験する。



衣裳フィッティング

『白鳥の湖』『眠れる森の美女』そして今回の『くるみ割り人形』のように、Kバレエカンパニーのレパトリーを上演する際は、舞台美術も衣裳もすべてカンパニー公演で使用されているものとなる。



団結式

オーディションにより選定されたメンバーと教師陣が初めて一堂に会する団結式。この日からリハーサルがスタートする。



ゲネプロ鑑賞会

12月にはKバレエカンパニー「くるみ割り人形」公演のゲネプロを全員で鑑賞。メンバーそれぞれがプロフェッショナルの舞台から学び、その後のリハーサルに取り組む上でのヒントを得ることのできる貴重な機会となる。

舞台稽古を経て、本番へ！

### Kao PRESENTS Tetsuya Kumakawa K-BALLET YOUTH [Kバレエ ユース 第4回公演]

## くるみ割り人形

8/3(土)



吉光美緒



武井隼人



池田彩乃



本田祥平



後藤涼香

8/4(日)



塚田真夕



田中大智



川村咲子



金 瑛揮



杉本 遥

両日



[賛助出演]  
遅沢佑介  
〈ドロッセルマイヤー〉

[総合演出・総監督] 熊川哲也  
[芸術監督] 浅川紫織 [演出・振付] 熊川哲也  
[原振付] レフ・イワノフ [オリジナル台本] マリウス・プティパ  
[音楽] ビョートル・イリイチ・チャイコフスキー  
[舞台美術・衣裳デザイン] ヨランダ・ソナベンド/レスリー・トラヴァース  
[照明デザイン] 足立 恒 [指揮] 井田勝大  
[管弦楽] シアター オーケストラトキョー  
[出演] Kバレエ ユース / Kバレエ カンパニー